

平成24年 3 月期 第 1 四半期連結決算概要

平成23年 7 月29日
住友化学株式会社

(単位：億円)

1. 業績

	平成23年 3 月期 第 1 四半期	平成24年 3 月期 第 1 四半期	増減	平成23年 3 月期
売上高	4,912	5,019	107	19,824
営業利益	340	348	7	880
経常利益	360	389	29	841
四半期（当期）純利益	180	△98	△277	244
1株当たり四半期（当期）純利益	10円88銭	△5円97銭	△16円85銭	14円86銭
自己資本四半期（当期）純利益率（ROE）	3.1%	△1.9%	△5.0%	4.5%
平均為替レート（円／\$）	92.01	81.71	—	85.74
ナフサ価格（円／KL）	49,700	59,500	—	47,500

2. 部門別売上高・営業利益

(単位：億円)

		平成23年 3 月期 第 1 四半期	平成24年 3 月期 第 1 四半期	増減	平成23年 3 月期
基礎化学	売上高	763	753	△10	3,023
	営業利益	60	70	10	206
石油化学	売上高	1,562	1,700	138	6,499
	営業利益	36	58	22	111
情報電子化学	売上高	781	714	△66	3,223
	営業利益	80	41	△39	261
健康・農業 関連事業	売上高	627	715	88	2,508
	営業利益	69	81	12	233
医薬品	売上高	1,099	1,025	△74	4,106
	営業利益	150	135	△15	287
その他	売上高	82	112	30	466
	営業利益	△5	12	18	41
全社費用等	売上高	—	—	—	—
	営業利益	△49	△49	0	△260
合計	売上高	4,912	5,019	107	19,824
	営業利益	340	348	7	880

※当第 1 四半期連結会計期間からセグメントの変更を行っており、前年同四半期および前期実績値についても、比較のため組替を行っております。セグメント変更の詳細については、添付資料 10 ページをご参照ください。

3. 要約連結損益計算書

(単位：億円)

	平成23年3月期 第1四半期	平成24年3月期 第1四半期	増 減
売上高	4,912	5,019	107
営業利益	340	348	7
持分法投資損益	51	44	△7
為替差損益	△34	△5	29
その他の	3	2	△1
経常利益	360	389	29
持分法投資損失（※）	-	△290	△290
事業構造改善費用	△3	△6	△3
税金等調整前四半期純利益	357	93	△264
法人税等	△105	△124	△19
少数株主損益調整前四半期純利益（△は損失）	252	△31	△283
少数株主利益	△72	△66	6
四半期純利益（△は損失）	180	△98	△277

(※) 関係会社のれん相当額一時償却

4. 要約連結貸借対照表

(単位：億円)

	平成23年3月期末 現在	平成24年3月期 第1四半期末 現在	増 減		平成23年3月期末 現在	平成24年3月期 第1四半期末 現在	増 減
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産	10,983	11,470	487	支払手形及び 買掛金	2,280	2,594	314
現金及び預金	837	927	90	有利子負債	10,403	10,559	156
受取手形及び 売掛金	4,138	4,263	125	その他の	3,401	3,296	△105
たな卸資産	3,581	3,916	335	負債合計	16,084	16,450	365
その他の	2,427	2,365	△62				
固定資産	12,690	12,557	△132	(純資産の部)			
				株主資本	6,039	5,841	△198
有形固定資産	5,525	5,668	142	その他の包括利益累計額	△815	△690	125
無形固定資産	1,848	1,790	△58	少数株主持分	2,364	2,426	62
投資その他の 資産	5,317	5,100	△217	純資産合計	7,589	7,578	△11
資産合計	23,673	24,028	355	負債・純資産合計	23,673	24,028	355

5. キャッシュ・フロー

(単位：億円)

	平成23年3月期 第1四半期	平成24年3月期 第1四半期	増減	平成23年3月期
営業キャッシュ・フロー	281	240	△42	1,762
投資キャッシュ・フロー	△704	△234	470	△1,560
差引(フリー・キャッシュ・フロー)	△422	6	428	202
財務キャッシュ・フロー	554	43	△511	180
その他の	6	14	8	△77
現金及び現金同等物の増減	137	63	△75	306



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場取引所 東 大

上場会社名 住友化学株式会社

コード番号 4005 URL <http://www.sumitomo-chem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 十倉 雅和

問合せ先責任者 (役職名) 経理室部長 (氏名) 佐々木 啓吾

TEL 03-5543-5265

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	501,902	2.2	34,756	2.1	38,911	8.1	△9,752	—
23年3月期第1四半期	491,243	44.2	34,042	—	36,004	—	17,971	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 11,052百万円 (△51.4%) 23年3月期第1四半期 22,742百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△5.97	—
23年3月期第1四半期	10.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	2,402,770	757,803	21.4
23年3月期	2,367,314	758,886	22.1

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 515,176百万円 23年3月期 522,473百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.00	—	6.00	9.00
24年3月期	—				
24年3月期(予想)		6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,000,000	1.1	50,000	△5.7	51,000	△2.1	0	△100.0	0.00
通期	2,120,000	6.9	80,000	△9.0	87,000	3.5	21,000	△14.1	12.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 有
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当する変更を行っております。
詳細は、【添付資料】P.4「2.サマリー情報(その他)」に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	1,655,446,177 株	23年3月期	1,655,446,177 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	20,760,037 株	23年3月期	20,744,415 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	1,634,692,600 株	23年3月期1Q	1,651,002,786 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・これらの予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出されたものであり、潜在的なリスクや不確定な要因を含んでいます。実際の業績等に重大な影響を与える主な要因としては、当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢、製品市場における需要動向、競争激化による販売価格の下落、原料品の価格の上昇、為替相場の変動があります。但し、業績に変動を与える要素はこれらに限定されるものではありません。なお、業績予想の前提条件その他関連する事項については、【添付資料】P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項.....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	9
(4) セグメント情報等.....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は、前年同四半期連結累計期間（以下、「前年同四半期」）に比べ107億円増加し、5,019億円となりました。損益面では、営業利益は348億円、経常利益は389億円となり、それぞれ前年同四半期を上回りました。一方で、当第1四半期連結会計期間において、関係会社株式のうち時価が著しく下落したものに係るのれん相当額を一時償却し、持分法による投資損失（特別損失）290億円を計上したことにより、四半期純損益は前年同四半期に比べ悪化し、98億円の損失となりました。

当第1四半期連結累計期間のセグメント別の業績の概況は次のとおりです。
(基礎化学)

メタクリルの販売は海外市況の上昇により増加しました。合成繊維原料は市況は上昇しましたが、震災の影響を受け出荷が減少しました。アルミニウムの販売も震災の影響により減少しました。加えて、円高による在外子会社の邦貨換算の影響もあり、売上高は前年同四半期に比べ10億円減少し753億円となりました。営業利益は市況の上昇により、前年同四半期に比べ10億円増加し70億円となりました。

(石油化学)

合成樹脂や石油化学品は、震災の影響を受け、一部製品の国内出荷が減少しましたが、ナフサ等原料価格の高騰に伴う海外市況の上昇や国内販売価格の是正により、販売が増加しました。この結果、売上高は前年同四半期に比べ138億円増加し1,700億円となり、営業利益は前年同四半期に比べ22億円増加し58億円となりました。

(情報電子化学)

液晶ディスプレイ材料である偏光フィルムは需要の増加により出荷が増加しましたが、カラーフィルターの出荷は減少しました。偏光フィルム、カラーフィルターともに販売価格が下落したことに加えて、円高による在外子会社の邦貨換算の影響もあり、売上高は前年同四半期に比べ66億円減少し714億円となり、営業利益は前年同四半期に比べ39億円減少し41億円となりました。

(健康・農業関連事業)

メチオニンの販売は順調に拡大しました。農薬は海外での除草剤の出荷が引き続き堅調に推移しました。この結果、円高による在外子会社の邦貨換算の影響はありましたが、売上高は前年同四半期に比べ88億円増加し715億円となり、営業利益は前年同四半期に比べ12億円増加し81億円となりました。

(医薬品)

本年2月より米国にてラツダ（非定型抗精神病薬）の販売を開始しました。アバプロ（高血圧症治療剤）やロナセン（非定型抗精神病薬）、新製品であるトレリーフ（パーキンソン病治療剤）やメトグルコ（ビッグアナイド系経口血糖降下剤）については引き続き拡販に注力したため、販売が増加しました。一方、アムロジン（高血圧症・狭心症治療剤）は後発品との競争により販売が減少しました。この結果、円高による在外子会社の邦貨換算の影響もあり、売上高は前年同四半期に比べ74億円減少し1,025億円となり、営業利益は前年同四半期に比べ15億円減少し135億円となりました。

(その他)

上記5部門以外に、電力・蒸気の供給、化学産業設備の設計・工事監督、運送・倉庫業務、物性分析・環境分析等を行っております。これらの売上高は前年同四半期に比べ30億円増加し112億円となり、営業損益は前年同四半期に比べ18億円改善し12億円の利益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ355億円増加し2兆4,028億円となりました。「商品及び製品」等のたな卸資産が増加したことや、在外子会社および関連会社の換算レートが前連結会計年度末に比べ円安となったことなどが要因であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ365億円増加し1兆6,450億円となりました。支払手形及び買掛金が増加したことが主な要因であります。なお、有利子負債（短期借入金、1年内償還予定の社債、コマーシャル・ペーパー、社債および長期借入金の合計でリース債務を除く）は前連結会計年度末に比べ156億円増加し1兆559億円となりました。

純資産（少数株主持分を含む）は、為替換算調整勘定等のその他の包括利益累計額は改善しましたが、利益剰余金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ11億円減少し7,578億円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べて0.7ポイント低下し、21.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期の業績見通しにつきましては、平成23年5月11日公表の平成24年3月期第2四半期連結累計期間業績予想および平成24年3月期通期業績予想を以下の通り修正しております。

平成24年3月期の連結業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第2四半期連結累計期間	1,000,000	50,000	51,000	0
通期	2,120,000	80,000	87,000	21,000

詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・ 税金費用の計算

一部の連結子会社では、税金費用については、当第1四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

・ 重要な減価償却資産の減価償却の方法

有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法について、従来、主として定率法を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、主として定額法に変更しております。

前中期経営計画（2007年度～2009年度）に基づき、当社が実施した大型の国内製造設備の生産能力増強等については、前連結会計年度までに本格稼働を開始しており、今後は安定的な稼働率や収益の推移が見込まれることや、海外の連結子会社は定額法が多数を占めていることなどから、定額法が当社の企業活動をより適切に反映した減価償却方法と判断できるためです。

この結果、従来の方法によった場合と比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ3,514百万円増加しております。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	83,746	92,722
受取手形及び売掛金	413,773	426,260
有価証券	96,074	86,350
商品及び製品	259,206	287,798
仕掛品	12,587	13,923
原材料及び貯蔵品	86,353	89,875
その他	148,437	151,830
貸倒引当金	△1,832	△1,722
流動資産合計	1,098,344	1,147,036
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	200,520	201,286
機械装置及び運搬具（純額）	200,207	207,777
その他（純額）	151,814	157,692
有形固定資産合計	552,541	566,755
無形固定資産		
のれん	79,662	79,518
その他	105,088	99,442
無形固定資産合計	184,750	178,960
投資その他の資産		
投資有価証券	401,046	379,049
その他	131,699	132,006
貸倒引当金	△1,066	△1,036
投資その他の資産合計	531,679	510,019
固定資産合計	1,268,970	1,255,734
資産合計	2,367,314	2,402,770

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	227,987	259,410
短期借入金	214,130	206,752
1年内償還予定の社債	20,978	25,998
コマーシャル・ペーパー	104,000	95,000
未払法人税等	15,413	13,141
引当金	51,193	45,485
その他	164,495	162,696
流動負債合計	798,196	808,482
固定負債		
社債	357,000	342,000
長期借入金	344,226	386,164
退職給付引当金	29,454	30,001
その他の引当金	10,030	9,069
その他	69,522	69,251
固定負債合計	810,232	836,485
負債合計	1,608,428	1,644,967
純資産の部		
株主資本		
資本金	89,699	89,699
資本剰余金	23,695	23,695
利益剰余金	499,287	479,501
自己株式	△8,747	△8,753
株主資本合計	603,934	584,142
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	49,918	47,623
繰延ヘッジ損益	△42	99
土地再評価差額金	3,815	3,815
為替換算調整勘定	△135,152	△120,503
その他の包括利益累計額合計	△81,461	△68,966
少数株主持分	236,413	242,627
純資産合計	758,886	757,803
負債純資産合計	2,367,314	2,402,770

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	491,243	501,902
売上原価	345,247	353,849
売上総利益	145,996	148,053
販売費及び一般管理費	111,954	113,297
営業利益	34,042	34,756
営業外収益		
受取利息	516	474
受取配当金	1,799	1,976
持分法による投資利益	5,087	4,410
雑収入	4,007	2,643
営業外収益合計	11,409	9,503
営業外費用		
支払利息	3,229	2,989
コマーシャル・ペーパー利息	62	40
為替差損	3,401	476
雑損失	2,755	1,843
営業外費用合計	9,447	5,348
経常利益	36,004	38,911
特別損失		
持分法による投資損失	—	29,027
事業構造改善費用	328	589
特別損失合計	328	29,616
税金等調整前四半期純利益	35,676	9,295
法人税等	10,489	12,415
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	25,187	△3,120
少数株主利益	7,216	6,632
四半期純利益又は四半期純損失(△)	17,971	△9,752

四半期連結包括利益計算書
第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	25, 187	△3, 120
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8, 771	△3, 436
繰延ヘッジ損益	68	131
為替換算調整勘定	3, 992	11, 828
持分法適用会社に対する持分相当額	2, 266	5, 649
その他の包括利益合計	△2, 445	14, 172
四半期包括利益	22, 742	11, 052
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15, 783	2, 743
少数株主に係る四半期包括利益	6, 959	8, 309

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はない。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	基礎化学	石油化学	情報電子 化学	健康・農業 関連事業	医薬品	計			
売上高									
外部顧客への 売上高	75,328	169,959	71,446	71,503	102,470	490,706	11,196	—	501,902
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	3,329	2,600	1,267	1,200	—	8,396	12,990	△21,386	—
計	78,657	172,559	72,713	72,703	102,470	499,102	24,186	△21,386	501,902
セグメント利益	6,987	5,805	4,059	8,076	13,464	38,391	1,229	△4,864	34,756

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電力・蒸気の供給、化学産業設備の設計・工事監督、運送・倉庫業務および物性分析・環境分析業務等を含んでいる。
- 2 セグメント利益の調整額△4,864百万円には、セグメント間取引消去256百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△5,120百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社共通研究費等である。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

報告セグメントの変更

当第1四半期連結会計期間より、セグメントの区分方法を以下のように変更している。

- ・「精密化学」を廃止し、同セグメントに含まれていた機能性材料、添加剤、染料等を「基礎化学」に移管した。また、同セグメントに含まれていた医薬化学品等を「農業化学」に移管し、これに伴い「農業化学」を「健康・農業関連事業」に改称した。
- ・「医薬品」に帰属する連結子会社の、「その他」に含まれていた事業を「医薬品」に変更した。

なお、前第1四半期連結累計期間について、変更後の区分方法により作成した報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、次のとおりである。

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	基礎化学	石油化学	情報電子 化学	健康・農業 関連事業	医薬品	計			
売上高									
外部顧客への 売上高	76,304	156,153	78,065	62,667	109,866	483,055	8,188	—	491,243
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	2,820	2,259	1,579	898	—	7,556	12,143	△19,699	—
計	79,124	158,412	79,644	63,565	109,866	490,611	20,331	△19,699	491,243
セグメント利益 又は損失(△)	5,993	3,601	8,003	6,879	14,968	39,444	△526	△4,876	34,042

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電力・蒸気の供給、化学産業設備の設計・工事監督、運送・倉庫業務および物性分析・環境分析業務等を含んでいる。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△4,876百万円には、セグメント間取引消去357百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△5,233百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社共通研究費等である。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はない。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はない。